



2013~2014年度 国際ロータリーテーマ
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」

HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 牧野國雄 ● 副会長 常盤卓嗣 ● 幹事 清水 裕 ● 会報委員長 青山紀美代 (2013~2014年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2932回例会 2014年2月13日 グランドホテル神奈中 週報第2932号

本日の卓話者ご紹介

縄文笛、土笛、フルート奏者
縄文笛 毅 様



卓話

「私と縄文笛との出会い」

縄文笛、土笛、フルート奏者 縄文笛 毅

20歳の夏、私はインドへ行きました。ラジギールという小さな町で病に倒れ、40度の熱と、5分に一度の下痢が5日間も続きました。帰国後も熱のためでしょうか、突然、目に激痛が走り、もともと悪かった目が、一段と悪くなりました。左目は失明し、身心ともにズタズタになりました。一人で歩くこともできず、ふさぎ込む日々が続きました。そんなある日、子どもの頃からの私の音楽の先生が、ドライブに誘ってくれました。秋晴れの一日、海へ行き喫茶店に入りました。その店のマスターと、音楽の話をしているうちに「実は土の笛を作っているのだが音が出ない、吹いてみてくれないか」というのです。取り出してきた土笛に驚かされました。小芋のようなカタチで、中が空洞になっており、いくつかの孔が開いていて、風変わりな、とても笛と呼べるようなものではありませんでした。

私は、土笛にチカラ一杯息を吹き込みました。小さな笛全体が震え、はじけ飛ぶ音が空間を震わせました。お店の窓ガラスがビリビリ音を立てるほどでした。私は、これほどに力強い笛の音を聴いたことがありません。私

の体は震えていました。『これで生きてゆける！』私は、瞬間にそう感じました。

その日、帰り道で私は粘土を買いました。家に帰り、さっそく土笛を作り始めたのです。今から25年前の出来事です。

その後、土器製作者の方に復元して作っていただいた土笛を持って、私は海辺へ出かけます。

海風に土笛を向けると、風が笛を吹いてくれます。その音を聴いて、真似しようとするのですが、なかなか上手くいきません。

あの日、『縄文笛』との宿命的な出会いから25年。この笛から、私の新たな人生が始まったように思います。今も私は縄文笛毅と名乗り、湘南平塚を拠点に、全国各地に縄文笛の音を届けています。

卓話者プロフィール

じょうもんぶえ つよし
縄文笛 毅 様 <縄文笛、土笛、フルート奏者>

- 1967年 福岡市生まれ。視力障害ゆえ幼い頃より笛に親しむ。昭和音楽大学にてルートを故・吉田雅夫氏に師事。
- 1988年 インドにて病に倒れ視力をほとんど失う。療養中、土笛と出会い製作を始める。
- 1989年 自作の笛に「縄文笛」と名付け演奏活動を始める。
- 1993年 フランス、ケニアを演奏旅行。
- 1996年 NHKテレビ『縄文笛は生命の響き…』放送。これまでに能楽堂や各地の遺跡で約800回の演奏を行う。
- 現在、コンサート、老人ホームでの出前フルート演奏、絵本の読み語りの伴奏等を行っている。戸村正己氏製作復元による「縄文の土笛」の演奏において楽器としての可能性を追究し注目を集める。

<委員会報告>

◆新世代委員会 江藤博一委員長

第44回平塚市少年少女マラソン大会 参加者受付は本日までです。

<出席報告>

本日	2月13日	会員数	61名	対象者	57名	出席者	44(40)名	出席率	72.13%			
前々回	2月1日	会員数	62名	対象者	57名	出席者	62(57)名	出席率	100.00%	MUP	0名	計 62名 修正率100.00%

第41回緑化まつり「巣箱づくり教室」と合同開催「ポリオ撲滅キャンペーン」のご案内をFAX致しました。今回のキャンペーンには平塚学園高等学校のIACの先生・生徒さんもご参加いただきます。Tシャツをそろえますので、サイズをご記入のうえお申込ください。
日 時：4/26（土） 9：00～17：00
場 所：平塚市総合公園内 平塚のはらっぱ
どちらのお申込みも本日締切です。皆様のご参加・ご協力をよろしくお願い致します。

<幹事報告>

◎地区より米山奨学生の世話クラブ及びカウンセラーのお引き受けのお願い

期 間：2014年4月～2015年3月（1年間）
奨学生：タイ国籍の男性 東海大学（修士課程）
留学予定

◎2014年 地区研修協議会開催のご案内

日時：4/20（日） 12：00～登録
13：00～点鐘・研修協議会開始

場所：東海大学 湘南キャンパス

*次年度対象委員会委員長および2012年7月以降ご入会の会員の方で出席されたことのない方にご案内をお配りしています。

❑2月6日（木）ご逝去されました、今村信夫会員へ葬儀での弔辞です。

弔辞

謹んで今村信夫先生の御霊前に対しまして、一言惜別の言葉を申し上げます。2月7日、突然の訃報に接しました時、私は思わず呆然として言葉を失い、その事を信じる事が出来ませんでした。私が昨年夏の暑い日先生のお宅にお伺いした時パソコンの具合が悪いとかで、修理に来られた方と一緒に直されていたのを昨日の様に思い出します。最近体調を崩されて入院されておられましたが、正月には滝口さんのホールにおいて個展を開催され、新しい作品も多く展示されて、その素晴らしさに感動致しました。生憎お目にかかれませんでした。後日ご丁寧なお礼状を頂きました。また、例会場でお目にかかれるのを楽しみにしておりましたが、まさかこの様になるとは、ご家族の皆様のご心情を推察申し上げる事さえ、胸が張り裂ける思いがしております。

平塚ロータリークラブは、今から57年前、1957年（昭和32年）に創立され、平塚市を中心に、実業界、専門職業者の方々によって構成され、それぞれの職業を通じて、奉仕の理想を掲げて、地域社会、国際親善に幅広く活動し、同時に自己研鑽と会員相互の親睦をしている団体であります。

今村先生は平塚ロータリークラブに平成4年に10月に入会され、22年の長きにわたり在席されました。2003～04年（平成15年～16年）に第48代クラブ会長を務められました。当時の年間テーマとして「国際理解」を掲げられ、我々に国際親善と国際理解の大切さを

教えて頂きました。ご自身も外国に行かれ、特にネパールの友好親善は多くの方々のお認めるところであります。又、当時よりフランス語の勉強をされ、ヨーロッパを廻られて、各国のロータリーの例会に出席されたことなどお話を伺い、深い感銘を受けました。常に進取の心とたえず勉強を忘れない気持ちは、我々にご教示を与えて頂きました。そして先生はパソコンを巧みに駆使され、会長当時、平塚ロータリークラブ事務所にIT機器を導入され、事務のIT化に積極的に取り組まれました。

その後も今村先生はロータリー活動のあらゆる事業、会議、集会に積極的に参加され、ある時は活動の中心として、適切な指示を出され、又ある時はそっと見守り、時に応じたアドバイスをして下さいました。先生は長らく教員生活をしていられたが、現在、平塚ロータリークラブの会員にも先生の教え子がおります。しかし先生は我々後輩や若い人たちにも分け隔てなく、接して頂きました。先生の温厚にして篤実、あの優しい目と、柔らかい話し方が今にして思い出されます。今村先生を失った我々平塚ロータリークラブは、誠に暗夜に灯火を失ったようなものであり、誠に残念で、さみしさを感ずるばかりであります。

生者必滅、会者定離は人の定めと申しますが、今村先生の突然のご逝去は、平塚ロータリークラブにとりまして、限りなく痛恨の極みであります。これから私たちは、今村先生の精神を受け継ぎ、ますます地域社会の中で奉仕の理想を鼓吹し、親睦と友情を深めてゆくことをお誓い申し上げます。

御霊安らかに、ご家族の上をお守りくださると共に、私達平塚ロータリークラブもお見守り下さい。

ここに謹んでご霊前に哀悼の意を表し、合わせてご生前の数々のご業績に対して、衷心より感謝を申し上げお別れの言葉と致します。今村先生さようなら

平成26年2月10日

平塚ロータリークラブ会長
牧野 國雄

<メイクアップ> 0名

<本日のスマイル> 13名

<ゲスト> 2名
縄文笛 毅様（卓話者）
喜納ゆかり様（マネージャー）

<卓話・行事予定>

3月 6日（木） 職業奉仕委員会による会員健康診断
13日（木） 日野自動車（株）車両企画部
参事 新倉孝昭様
20日（木） 入会記念卓話 前田孝平会員
27日（木） 山田流箏曲教授 大橋喜久優様
4月 3日（木）（福）湘南福祉センター
理事長 長本貞光様

<市内例会変更> 現在ございません。